

ビジネス型短期高等教育とネットワーキング：産能短期大学

吉本, 圭一
放送教育開発センター：助教授

<https://hdl.handle.net/2324/18799>

出版情報：短期大学改革の進展と将来展望：「短期大学改革の実施状況等に関する実地調査」報告書,
pp.27-30, 1996-03. 放送教育開発センター
バージョン：
権利関係：

大都市型のネットワークによる女子教養系教育の振興

－東横学園女子短期大学－

調査の視点

東横学園女子短期大学は、教養型の女子短大として、東急沿線では名門として安定した地位にある。そうした都市型・女子・教養系短大としての個性をより強調するとともに、実学型のカリキュラム的選択肢の必要から、ビジネス型の産能短大との単位互換による短大間の連携の先駆的な試みを推進している。また編入学による姉妹校や関係の大学との連携を拡大していくとともに、併設高校との外国語教育における連携を通しての5年一貫型教育によるネットワークの充実を企画している。

自己点検・評価においても、「教育業績一覧」「教職員合同セミナー」「教育研究改善委員会」「学生アンケート」を通して、積極的に推進している。

(訪問日：平成6年6月27日)

プロフィール

所在地 東京都世田谷区等々力。東横学園女子短期大学では、東急グループの五島育英会によって昭和31(1956)年に家政科1学科で設立され、現在、生活学科、国語国文学科、英語英文学科の3学科構成となり、臨時定員350名を含む学年定員は800名である。なお、前身としては、昭和14(1939)年に東京急行電鉄社長五島慶太によって設立された「東横商業女学校」である。

短大の在学生数は、1994年度で約1,600人、教職員数は100人である。学校法人五島育英会には、4年制大学として武蔵工業大学(大学院)を持つほか、東急グループ内の姉妹法人である亜細亜学園も、亜細亜大学および短期大学部を有している。また、東横学園付属として幼稚園から小・中・高校まで持つほか、武蔵工業大学付属として中学・高校も持っている(図1)。

短大の組織としては、3学科および、教養系、情報図書館学課程、教職課程の教員組織があるほか、女性文化研究所を有している。

併設高等学校および首都圏出身の入学者

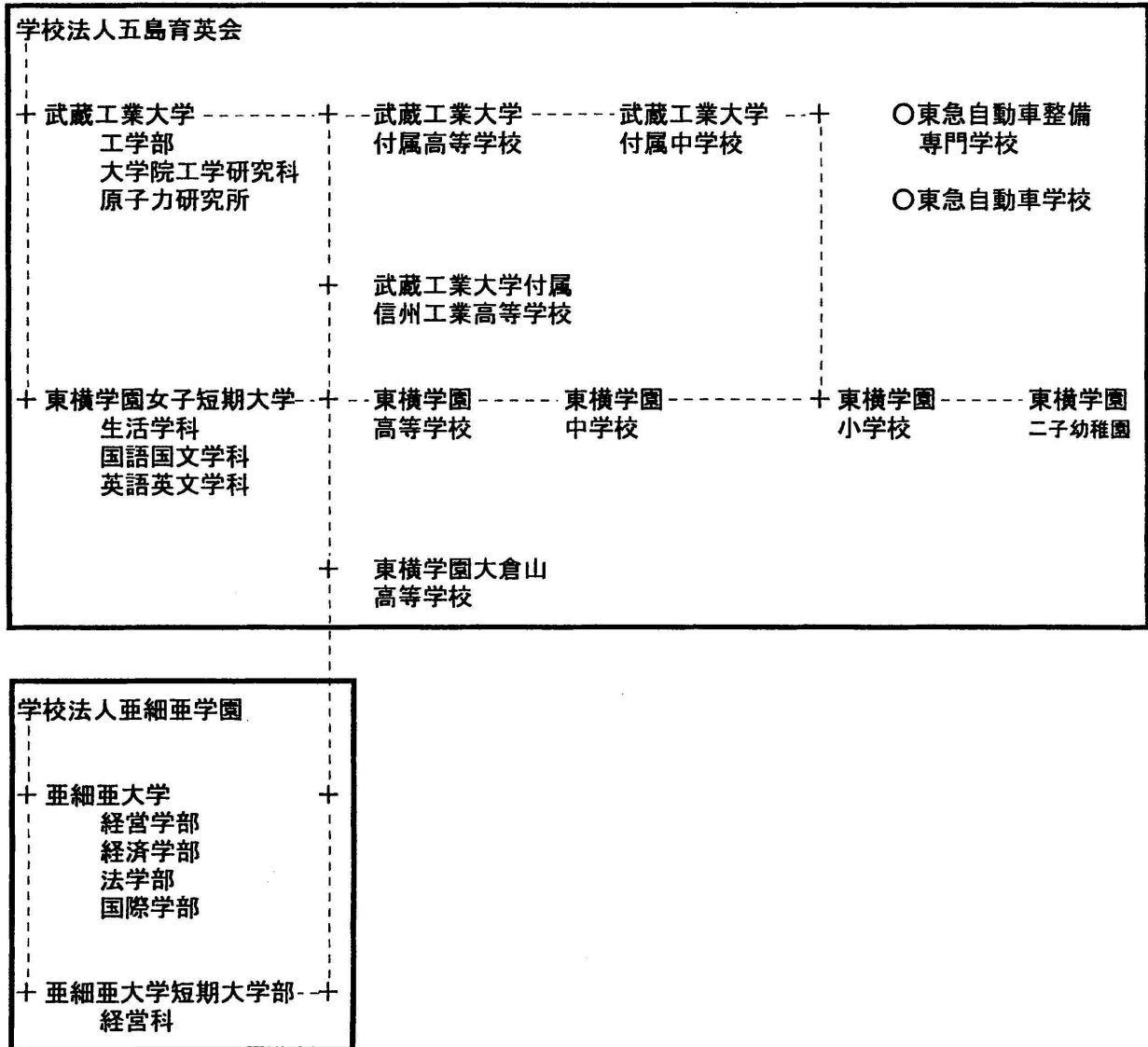
平成6年度の入学者878名の出身県をみると、東急沿線で通学条件のよい神奈川県および東京都内の高校出身者が607名(69.1%)を占めている。さらに、千葉県・埼玉県まで含めると、首都圏で86.7%にのぼっている。全体では、入学者は32都府県にまたがっている。

高校別にみると、付属高校からの進学者が、東横学園高等学校から82名、東横学園大倉山高校から44名の合計126名となっている。また、両校のほかにも、首都圏には5名以上の入学者を受け入れている高校が20校弱ある。さらに、地方の指定校としても、32校から36名の入学者を受け入れており、多様な範囲から短大入学者層の安定的な基盤を確保している。

志願状況としては、平成4(1992)年度から平成6(1994)年度まで連続して、志願者数が

対前年度比でそれぞれ3割近い減少を経験し、ピーク時のほぼ1万の志願者数から比べて4割以下になっている。短大への進学ルートが確保されている付属の高校や地方の指定校でも、短大志向と4年制大学志向が逆転したおり、経営的な面からも志願者数の減少が大きな関心であるという。

図1 学校組織図



就職と進路の多様化

卒業後の進路は、平成6年3月の卒業生819名中で、就職希望者645名、就職者は602名である。近年の不況下で、求人も前年比30%減であり、就職希望者・就職者も同様に減少している。しかし、就職の内容としては、職種は460名までが事務職であり、また東急グループ各社をはじめとして、就職先は上場企業が32.0%を占めており、依然として良好であるとみることができる（表1）。

就職指導については、1年次の10月から2年次の5月までに7回の就職ガイダンスが実施され、その他、外部講師による就職講座も5回開講されている。

他方，進学をみると，留学や専門学校進学者，4年制大学編入者を含む進学者は80名に達し，前年と比較して2.5倍に急増している。

表1 平成5年度卒業者の進路・就職状況

		(平成6年3月現在)	
○卒業生の進路状況		○職種別就職状況	
卒業者数	819名	事務	460名
(就職希望者数)	645名	販売	50名
就職者数	602名	営業	47名
進学者数(留学・専門学校含む)	80名	フロント受付	6名
家事手伝	19名	研究補助	5名
アルバイト	75名	プログラマー	4名
その他	43名	司書	3名
		スチュワーデス	3名
		その他	24名
○求人状況			
求人件数	1,714件		
上場求人件数	316件		
求人総数	約4,800件		

語学教育の充実

入口と出口の多様化に対応するために，東横学園女子短大では，その個性を明確にし，それぞれの階段での他の教育機関とのネットワークを推進しようとしている。教育面では語学において，夏休みのアメリカでのホームステイやイギリス・ベルカレッジでの語学研修，春休みのアメリカ・カリフォルニア州立大学ハンボルト校での6週間の語学研修「海外春期英語集中講座」を実施している。特に，春期の語学研修は，受講者の選抜を行って派遣し，受講者にはどの学科でも2単位を認定することとなっている。

また，併設高校との語学教育面での連携を図り，5年間のコース開発をすることを企画している。具体的には，英語の少人数(15名×3)のインテンシヴコース(月曜から金曜までの午前中45～50分の横並びで毎日)がその目玉であり，その履修のために，スーパーバイザーと教員の指導が組み合わされるものである(これらは訪問調査時には短大の教育課程においても企画段階であったが，報告書執筆の1995年度には，短大教育課程でインテンシヴ語学の実施が始められており，併設高校との連携が企画中となっている)。

英語以外の語学については，スペイン語とフランス語を開講しているが，アジアの諸言語についても学習の機会を提供するために，産能短期大学の中国語を単位互換の科目に加えている。

産能短期大学との単位互換

教養型の東横学園女子短期大学と実学型の産能短期大学とで，平成4年度から単位互換を開始している。両短大が地理的にも徒歩10分程度で移動できる距離にあることや，専門の分野が重ならないため，カリキュラムの幅広さを提供するために相互補完的であることが，この単位互換のメリットとなっている。

平成6年度の単位互換の科目数は，産能短大から「国際事情」「女性と職業」「オフィス論」「中国語」，東横短大から「自然・人間・文化(女性と結婚)」「自然・人間・文

化(マスメディア)」「消費者教育」「未来居住論」「フランス語初級」であり、学生の受講状況は、東横短大から産能短大へ33名が、産能短大から東横短大へは15名が受講している(表2)。

編入学の促進

進路の多様化に伴って、編入のための制度の整備が課題となっている。姉妹校の武蔵工業大学は、従来分野的に異なるため編入は制度化されていなかったが、平成7年度以後の編入の推薦定員枠についての協定締結が進められており、さらに産能大学経営情報学部についても3名の編入定員枠の設定が協議されている。

学校法人としての五島育英会は、将来的に文系の4年制大学を設置する構想を持っているが、現段階では、卒業生の編入動向が一定の範囲の大学・学部に集まっていることからそうした大学学部のカリキュラムを研究し、編入に関わる連携を進めていくことを課題としている。

表2 東横短大と産能短大の単位互換状況

(平成6年6月現在)

平成4年度							
産能短大開講←東横短大学生受講				東横短大開講←産能短大学生受講			
科目	単位数	受講者	取得者	科目	単位数	受講者	取得者
産業論	2	1	0	消費者商品学	2	4	3
女性と職業	2	5	5	未来居住論	2	7	7
オフィス論	2	11	10	自然・人間・文化(身体表現)	2	2	2
				自然・人間・文化(女性と結婚)	2	5	5
合計		17	15	合計		18	17
平成5年度							
産業論	2	2	2	消費者商品学	2	9	9
中国語	2	17	14	フランス語初級	2	18	12
秘書実務総論	2	13	13	未来居住論(前期)	2	1	0
オフィス論2	2	3	3	未来居住論(後期)	2	3	0
				自然・人間・文化(身体表現)	2	2	2
				自然・人間・文化(女性と結婚)	2	2	2
				生活経営論	2	2	2
合計		35	32	合計		37	27
平成6年度							
国際事情	2	4		自然・人間・文化(女性と結婚)	2	2	
女性と職業(前期)	2	0		自然・人間・文化(マスメディア)	2	4	
女性と職業(後期)	2	2		消費者教育(前期)	2	1	
オフィス論2	2	14		消費者教育(後期)	2	0	
中国語	2	13		未来居住論	2	6	
				フランス語初級	2	2	
合計		33		合計		15	